

令和7年国勢調査結果 人口等基本集計 — 川崎市の結果（概要） —

令和8年10月
川崎市総務企画局都市政策部統計情報課

（注1）本資料は令和8年9月に総務省統計局から公表された令和7年国勢調査の「人口等基本集計」のうち、川崎市分の概要をまとめたものである。

（注2）本資料においては、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」を、平成27年はん分等により、令和2年及び令和7年はCANCEIS（カナダ統計局が開発したソフトウェア）によって総務省が補完した「不詳補完値」を使用している。

本市の人口は令和2年から令和7年の5年間に21,309人（1.4%）増加し、1,559,571人となり、過去最多を更新しました。

日本全体では人口減少局面に突入している一方、本市では引き続き人口が増加しています。これは、死亡数が出生数を上回る自然減となっているものの、転入数が転出数を上回る社会増が続いていることによるものです。なお、人口増加率がマイナスとなったのは、終戦直後に実施された国勢調査（昭和22年）の調査時のみとなっています。

また、世帯数についても776,607世帯となり、過去最多を更新しました。（図1、表1）

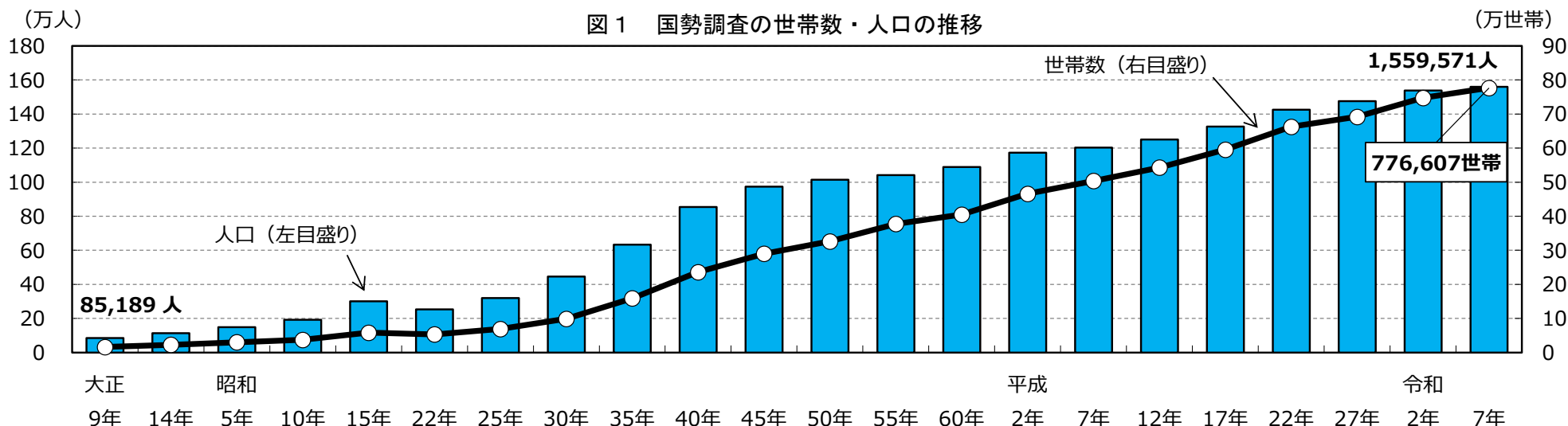


表1 国勢調査の世帯数・人口の推移

調査年	回	世帯数	人口	人口増減数	人口増減率(%)	1世帯当たり人員	調査年	回	世帯数	人口	人口増減数	人口増減率(%)	1世帯当たり人員
大正 9年	第1回	16,279	85,189	-	-	5.23	昭和 50年	第12回	326,203	1,014,951	41,465	4.3	3.11
14年	第2回	22,465	113,034	27,845	32.7	5.03	55年	第13回	377,397	1,040,802	25,851	2.5	2.76
昭和 5年	第3回	30,190	148,165	35,131	31.1	4.91	60年	第14回	404,762	1,088,624	47,822	4.6	2.69
10年	第4回	37,218	191,700	43,535	29.4	5.15	平成 2年	第15回	466,084	1,173,603	84,979	7.8	2.52
15年	第5回	58,087	300,979	109,279	57.0	5.18	7年	第16回	503,711	1,202,820	29,217	2.5	2.39
22年	第6回	53,109	252,923	△ 48,056	△ 16.0	4.76	12年	第17回	543,088	1,249,905	47,085	3.9	2.30
25年	第7回	69,195	319,226	66,303	26.2	4.61	17年	第18回	595,513	1,327,011	77,106	6.2	2.23
30年	第8回	98,755	445,520	126,294	39.6	4.51	22年	第19回	662,694	1,425,512	98,501	7.4	2.15
35年	第9回	159,051	632,975	187,455	42.1	3.98	27年	第20回	691,837	1,475,213	49,701	3.5	2.13
40年	第10回	235,791	854,866	221,891	35.1	3.63	令和 2年	第21回	747,452	1,538,262	63,049	4.3	2.06
45年	第11回	289,959	973,486	118,620	13.9	3.36	7年	第22回	776,607	1,559,571	21,309	1.4	2.01

（注1）令和7年の市域に組み替えた世帯数・人口である。

（注2）昭和5年の世帯数は、戸籍（12月末日現在）による。

本市の人口を年齢3区分別にみると、令和7年の15歳未満人口は172,235人、15～64歳人口は1,064,104人、65歳以上人口は323,232人となりました。
また、年齢3区分別人口割合の推移をみると、令和7年の65歳以上人口割合は20.7%となり、令和2年の20.3%から0.4ポイント上昇し、超高齢社会の基準である21.0%に迫っています。

なお、令和7年の本市の平均年齢は44.8歳となり、1.0歳上昇しましたが、全国平均の48.8歳よりも4.0歳下回りました。（表2、表3、図2）

表2 年齢3区分別人口の推移

(人)

調査年	総人口	15歳未満人口		15～64歳人口		65歳以上人口	
	実数	実数	総人口に占める割合 (%)	実数	総人口に占める割合 (%)	実数	総人口に占める割合 (%)
昭和25年	319,226	111,673	35.0	199,110	62.4	8,414	2.6
30年	445,520	144,787	32.5	288,359	64.7	12,366	2.8
35年	632,975	169,766	26.8	445,504	70.4	17,705	2.8
40年	854,866	197,818	23.1	632,660	74.0	24,388	2.9
45年	973,486	225,034	23.1	715,726	73.5	32,726	3.4
50年	1,014,951	244,704	24.1	726,056	71.6	43,432	4.3
55年	1,040,802	238,647	22.9	743,092	71.5	58,238	5.6
60年	1,088,624	219,529	20.2	794,913	73.0	74,060	6.8
平成 2年	1,173,603	193,536	16.5	883,707	75.5	93,798	8.0
7年	1,202,820	173,707	14.5	907,801	75.5	120,373	10.0
12年	1,249,905	170,670	13.7	923,655	73.9	154,704	12.4
17年	1,327,011	174,264	13.1	957,712	72.2	194,176	14.6
22年	1,425,512	185,571	13.1	988,540	70.0	237,298	16.8
27年	1,475,213	186,952	12.7	1,001,295	67.9	286,966	19.5
令和 2年	1,538,262	189,534	12.3	1,037,037	67.4	311,691	20.3
7年	1,559,571	172,235	11.0	1,064,104	68.2	323,232	20.7

図2 年齢3区分別人口割合の推移

(%)

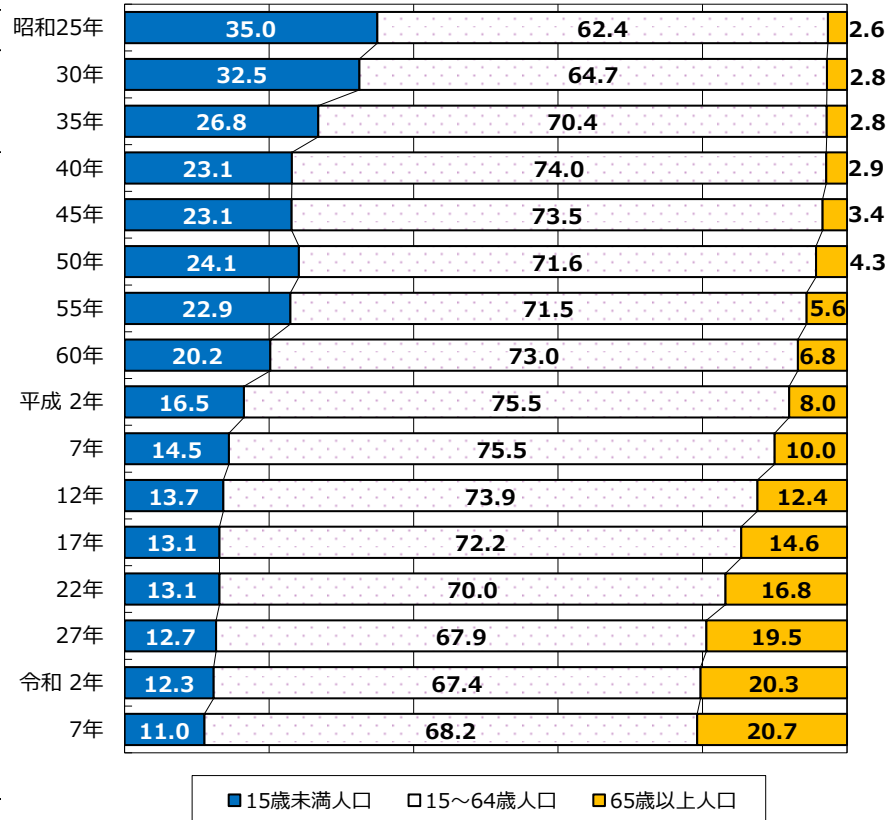


表3 平均年齢の推移

(歳)

調査年	昭和25年	30年	35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年	27年	令和2年	7年	(参考) 令和7年全国
年 齢	25.0	25.9	26.8	27.4	27.8	29.7	31.2	33.5	35.2	37.2	38.8	40.3	41.5	42.8	43.8	44.8	48.8

(注1) 年齢3区分別人口（割合）は、令和7年の市域に組み替えた人口（割合）である。

(注2) 年齢3区分別人口（割合）は、平成22年以前の総人口については年齢不詳を含み、平成27年以降については不詳補完値による。

(注3) 平均年齢は、平成27年以降については不詳補完値による。

令和7年の人口を区別にみると、中原区が269,570人で最も多く、幸区が175,700人で最も少なくなりました。

令和2年から令和7年までの5年間で最も人口が増加したのは多摩区で、増加数は7,078人、令和7年の人口は228,812人となりました。一方、7区のうち唯一、人口が減少した麻生区では、減少数は1,033人、令和7年の人口は179,672人となりました。

次に区別平均年齢をみると、令和7年は麻生区が47.4歳で最も高く、中原区が42.3歳で最も低くなりました。なお、令和7年の全国の平均年齢は、48.8歳であり、全ての区で全国値を下回りました。（表4、表5、図3）

表4 区別世帯数・人口

(世帯、人)

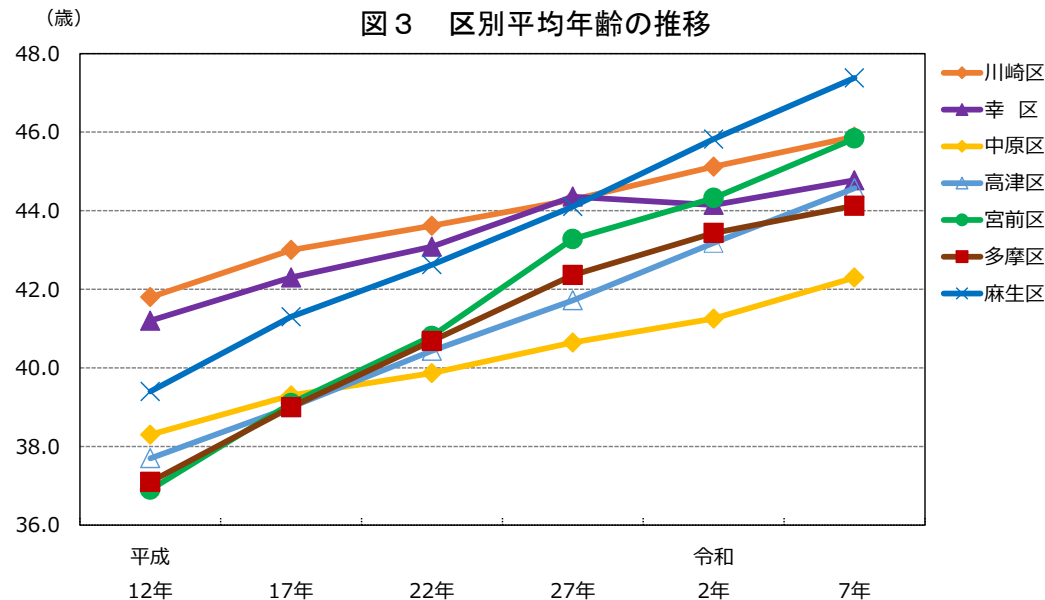
区 別	令和7年						令和2年						世帯 増減数	人口 増減数	人口 増減率 (%)
	世帯数	人口総数	男	女	性比	1世帯 当たり人員	世帯数	人口総数	男	女	性比	1世帯 当たり人員			
全 市	776,607	1,559,571	784,319	775,252	101.2	2.01	747,452	1,538,262	775,772	762,490	101.7	2.06	29,155	21,309	1.4
川崎区	125,606	233,357	125,823	107,534	117.0	1.86	123,515	232,965	125,091	107,874	116.0	1.89	2,091	392	0.2
幸 区	84,281	175,700	88,653	87,047	101.8	2.08	80,088	171,119	86,705	84,414	102.7	2.14	4,193	4,581	2.7
中原区	140,438	269,570	135,895	133,675	101.7	1.92	134,763	263,683	133,883	129,800	103.1	1.96	5,675	5,887	2.2
高津区	117,875	236,857	117,221	119,636	98.0	2.01	113,791	234,328	116,338	117,990	98.6	2.06	4,084	2,529	1.1
宮前区	105,364	235,603	113,851	121,752	93.5	2.24	102,317	233,728	113,386	120,342	94.2	2.28	3,047	1,875	0.8
多摩区	121,483	228,812	116,342	112,470	103.4	1.88	113,583	221,734	112,978	108,756	103.9	1.95	7,900	7,078	3.2
麻生区	81,560	179,672	86,534	93,138	92.9	2.20	79,395	180,705	87,391	93,314	93.7	2.28	2,165	△ 1,033	△ 0.6
(参考) 全国	57,324,619	122,972,528	59,772,092	63,200,436	94.6	2.15	55,830,154	126,146,099	61,349,581	64,796,518	94.7	2.26	1,494,465	△ 3,173,571	△ 2.5

表5 区別平均年齢の推移

(歳)

区 別	平成 12年	17年	22年	27年	令和 2年	7年
全 市	38.8	40.3	41.5	42.8	43.8	44.8
川崎区	41.8	43.0	43.6	44.3	45.1	45.9
幸 区	41.2	42.3	43.1	44.4	44.1	44.8
中原区	38.3	39.3	39.9	40.6	41.3	42.3
高津区	37.7	39.0	40.4	41.7	43.2	44.6
宮前区	36.9	39.1	40.8	43.3	44.3	45.8
多摩区	37.1	39.0	40.7	42.4	43.4	44.1
麻生区	39.4	41.3	42.6	44.1	45.8	47.4
(参考) 全国	41.4	43.3	45.0	46.4	47.6	48.8

図3 区別平均年齢の推移



(注1) 令和7年の市域に組み替えた世帯数・人口である。

(注2) 平成27年以降については不詳補完値による。